

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆2月の消費者物価指数1.6%上昇 伸び率3年11カ月ぶりに2%下回る

・総務省発表した2月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動が大きい生鮮食品を除く総合指数が111.4となり、前年同月比で1.6%上昇。伸び率は3年11カ月ぶりに2%を下回った。昨年末のガソリン旧暫定税率の廃止や政府の電気・ガス代補助などでエネルギー価格が下がった。電気代は8.0%、都市ガス代は8.2%、ガソリンは14.9%それぞれ低下。

◆男女の賃金格差、25年は最小 女性の正社員・役職者増え

・厚生労働省が発表した2025年の賃金構造基本統計調査によると、男性の賃金を100として女性の賃金を数値化した「男女間賃金格差」は76.6で前の年から0.8ポイント上昇。正社員として働いたり役職に就いたりする女性が増え、格差は比較可能な1976年以降で最小。一般労働者の平均賃金は34万600円と前年から3.1%増え、過去最高となった。

◆ドローン規制法改正案を閣議決定 飛行禁止、重要施設周囲1kmに拡大

・政府はドローンの飛行規制を強化するドローン規制法改正案を閣議決定した。重要施設周辺での規制区域を約300メートルから約1キロに拡大し、無許可飛行の際には警察官の命令がなくても罰則を科せるようにする。無許可飛行の危険性がレッドゾーンほど高くないことから、罰則は6月以下の拘禁刑または50万円以下の罰金と規定する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆2月粗鋼生産は微減 11カ月連続マイナスも自動車・産機用が復調

・日本鉄鋼連盟は2月の国内粗鋼生産量が前年同月比で微減の639万6500トンだったと発表。11カ月連続の減少となったが、減少幅は約3000トンにとどまった。自動車や産業機械向けの鋼材が増えたが、建設向けが縮小。転炉鋼は0.9%増の407万1300トンで11カ月ぶりに増加に転じた。特殊鋼は147万7200トンで5.9%増だった。

◆2月首都圏中古戸建て成約件数16カ月連続増加、価格も連続上昇

・東日本不動産流通機構は首都圏における2026年2月度の中古住宅流通動向を公表。中古戸建ての成約件数は1910件で前年比13.0%増と16カ月連続で増加。成約価格も4115万円の前年比5.0%増と2カ月連続で上昇。成約件数、成約価格はすべての地域で増加、上昇が続いている。

◆エチレン生産、5月以降焦点「4月は稼働維持」 中間材は値上げ相次ぐ

・基礎化学品エチレンの生産企業などで作る石油化学工業協会の工藤会長(旭化成社長)は「4月は設備稼働が維持できる」との見通しを示した。中東情勢の緊迫で原料のナフサの調達が難しく、5月以降も稼働を続けるために各社はナフサの国内調達増や中東外からの輸入を急ぐ。減産している結果、中間材料の値上げも相次ぐ。

《 注目商品 》

■DAIKEN、マグネットが貼れる不燃化粧壁材

・不燃化粧材「グラビオ」シリーズに、マグネットが貼れる鋼板基材の壁材「グラビオJA」をラインアップ。マグネット対応が可能な鋼板+ダイライトによるタイプを発売。幅910×高さ2730mmの大判サイズ。耐熱性・耐水性にも優れるためキッチンのガスコンロ周辺や洗面所にも対応。



■HiKOKI ジョイスティックスイッチ採用のインパクトドライバ

・業界初のジョイスティックスイッチを採用した「コードレスインパクトドライバ WH3DA」を発売。従来のトリガー式とは異なり、スイッチを倒す角度で回転数をコントロール。軽い指先操作で食い込みから仕上げまでの速度調整がしやすく、精密作業でも安定した締め付けができる。



■デュラビット、高コスパ水栓「Wave」シリーズ

・ドイツのバスルームブランド・Duravit(デュラビット)から、水栓シリーズ「Wave(ウェーブ)」の日本での本格販売を開始。スリムな円筒形のベースからスパウト(吐水口)へと流れるフォルムが特徴。わずかに上向きのハンドルは人間工学に基づいて設計。

